

## ■ 農業農村整備の集い — 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

全国土地改良事業団体連合会（会長・二階俊博和歌山県土連会長）と都道府県土地改良事業団体連合会の共催による『農業農村整備の集い』が6月26日、東京都の「シェーンバツハ・サポー」で開催され、全国から土地改良関係者約900名（島根県内からは22名）が参集しました。この集いは、農業農村整備に携わる全国の関係者が一同に会し、現場で直面している喫緊の課題を再認識し、これらの諸課題に緊急に対応すべく、農業農村整備事業の一層の充実と推進を期することを目的に毎年2回開催されています。



開会挨拶をする二階全土連会長

この度の集いには、農林水産省から山本有二農林水産大臣、磯崎陽輔副大臣、齋藤健副大臣をはじめ農村振興局幹部職員、また自由民主党の西川公也農林食料戦略調査会長、公明党の井上義久幹事長ほか衆参両院の国会議員約90名が出席されました。

はじめに、二階会長から「改正土地改良法により新たな展開を図り、平成30年度の予算確保を目指していくために、引き続き『闘う土地改良』の旗を高く掲げて前進する以外にない。お互いの協力によって土地改良問題、また農業農村問題が確実に前に進んでいることを確認できるまで、力を尽くしていきましょう」と挨拶がありました。



祝辞を述べる山本農林水産大臣

続いて、山本農林水産大臣から「全国の事業ニーズは依然大きく、安定的な当初予算確保は重要な課題だ。今後とも最大限の予算確保に努める」と述べられました。

全国水土里ネット会長会議の進藤金日子顧問からは情勢報告、その後事例発表が行われ、最後に平成30年度当初予算の確保を訴えた要請書が全会一致で採択され閉会しました。

その後、本県からの参加者で県選出国会議員に対して予算確保に向けた要請活動を行いました。

■ 農業農村整備の集い	1
■ 中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会	2
■ 島根県農村災害支援協議会総会	2
■ 第20回しまねの農村景観フォトコンテストの表彰式開催	3
■ 平成29年度土地改良管理指導担当者会議	3
■ 中国四国農政局管内農業集落排水事業関係説明会	4
■ 7月の主な予定	4

## ■ 中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会

中国四国土地改良事業団体連合会協議会の総会が6月16日、香川県琴平町で開催され、本会から渡部常務理事と安部事務局次長が出席しました。

この協議会は、中国四国管内9県の県土連で組織するもので、総会は、香川県土連大山会長の挨拶で始まり、坂井中国四国農政局長、国分香川県農政水産部長の来賓挨拶の後、総会に移り、農業農村整備推進の要望、本年度の事業計画の2議案について審議が行われ、いずれの議案も原案どおり可決承認されました。引き続き、瀧川中国四国農政局設計課長から、土地改良法の改正及び今年度の農業農村整備関係予算の概要説明がありました。



協議会総会の様子

また、平成30年度農業農村整備事業の当初予算の確保等に向け、次の6項目について、農林水産省などに対し積極的に要望・提案活動を行うことを確認しました。

### 【要望・提案事項】

- 1 中国四国地域の農業農村整備に必要な当初予算の確保について
- 2 国土強靱化の実現に向けた、農村地域防災減災事業予算の確保等について
- 3 多面的機能支払交付金の予算確保について
- 4 中山間地農業ルネッサンス事業の制度拡充について
- 5 ため池緊急防災体制整備促進事業の延長と採択要件の緩和について
- 6 国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）の継続について

## ■ 島根県農村災害支援協議会総会

島根県農村災害支援協議会の平成29年度総会が、6月16日に本会会議室において、会員47名が出席して開催されました。

本協議会は、農業用施設等の防災・減災に向けた維持管理活動や災害発生時の迅速な復旧支援を行うために設立され、5月末現在の会員数は97名となっています。

総会では、本協議会の長崎会長(県土連専務理事)の挨拶の後議事に入り、平成28年度事業報告及び決算報告、役員を選任、平成29年度事業計画(案)、会費の徴収、平成29年度会計収入支出予算(案)について審議され、いずれも原案どおり可決されました。



総会の様子

議事終了後には、島根県農地整備課防災グループの大庭グループリーダーから、平成28年度発生農地・農業用施設災害の査定状況についての報告がありました。

今年度も災害時の支援活動、ため池維持管理の啓発活動(草刈り)等を行う計画ですので、ご協力をお願いいたします。

## ■ 第20回しまねの農村景観フォトコンテストの表彰式開催

第20回記念しまねの農村景観フォトコンテストの表彰式が6月4日（日）、松江市袖師町の島根県立美術館で行われました。表彰式では第20回の節目を記念し、特別審査委員の松江市出身の俳優佐野史郎さんも出席されました。

表彰式に続き、川本貢功審査委員長と佐野史郎さんによる上位受賞作品を中心としたフリートークを開催しました。最優秀賞に輝いた「霧の朝」佐藤正美さんの作品については、「物語のラストシーンを想像させる、狙っていない無垢な作品」と講評されました。

入賞作品については、県内各地で巡回作品展を予定しており、会場等についてはホームページに掲載していますのでご覧ください。また、今後イベント等での展示のご希望があればご連絡ください。



表彰式の様子



フリートークの様子

今年度の第21回しまねの農村景観フォトコンテストの募集を開始しましたが、今回から部門が「風景部門」「人物部門」「地域活性化部門」の3部門となり、また、募集締切りが12月31日に変わりましたので、よろしくお願いいたします。

第21回以降も引き続き佐野史郎さんに特別審査委員をお願いすることに決まりました。

たくさんの作品応募をお待ちしております。

## ■ 平成29年度土地改良管理指導担当者会議

6月22日（木）、東京都の砂防会館別館において、全国水土里ネット主催の平成29年度土地改良管理指導担当者会議が開催されました。

会議では、農林水産省農村振興局担当官より5月26日に公布された改正土地改良法のポイントについて説明がありました。特に各地で多発する老朽化による農地インフラの損壊（突発事故）の再建も、災害復旧事業と同一の手続きで事業を実施できる制度が創設されたことや、ため池等の農業用排水施設の耐震化について農業者からの申請によらず、原則として農業者の費用負担や同意を求めずに事業を実施できる制度も創設されました。

また、今年度の維持管理適正化事業では、農業用排水施設への転落事故を防止するための安全管理施設（フェンス等）の設置も可能になるなど事業内容が拡充されています。

維持管理適正化事業の実施や施設の点検・診断等に関するご相談は、水土里ネット島根までお気軽にお問い合わせください。



全国水土里ネット 吉田常務理事の挨拶



## ■ 中国四国農政局管内農業集落排水事業関係説明会

6月27日、中国四国農政局において、平成29年度管内農業集落排水事業関係説明会が、中国四国管内の県、県土連及び市担当者約40名が参加し開催されました。

最初に、農政局地域整備課山田課長から開会の挨拶があり、続いて農水本省赤岸係長から「農業集落排水事業の概要、関連予算」、「再編計画の策定、施設の機能保全」、「持続的な污水处理システムの構築」及び「費用対効果分析にかかる運用」に関する説明がありました。続いてJARUS（一般社団法人地域環境資源センター）から「平成28年度省エネ実証調査、長寿命化対策調査及び平成29年度農業集落排水施設効率性向上実証事業」について説明があり、その後鳥取県土連から「農業集落排水施設に係る取組事例（省エネ型実証事業）」の報告がありました。

続いてJARUS集落排水部中邨次長の司会で意見交換会が行われ、「再編計画作成における現状と課題」をテーマとして、各県土連、県及び市から現状を説明し、施設の廃止・再編について活発な議論となりました。

農業集落排水事業は、近年全国的に新規地区が少なくなり、既設施設の更新事業が中心となっています。合併した市町村が多くの処理施設を抱え、施設の維持が大きな問題となっており、その再編・統合が課題となっていますが、水土里ネット島根においても、農業集落排水施設の診断及び更新（計画、実施）について取り組んでいますので、ご相談ください。

### 7月の主な予定

開催日	行 事 等	開催地
7月5日(水)	島根県農業農村整備推進協議会要望活動（農水省外）	東京都
7月7日(金)	島根県受益農地管理強化委員会・島根県管理運営体制強化委員会	県土連
7月10日(月)	平成29年度小水力等再生可能エネルギー導入促進に係る説明会	岡山市
7月12日(水)	土地改良事業団体隠岐協議会通常総会	海士町
7月12日(水)	県土連 隠岐管内 業務説明会	海士町
7月18日(火)	県土連 松江管内 業務説明会	県土連
7月21日(金)	県土連 雲南管内 業務説明会	奥出雲町
7月23日(日)	県土連職員採用試験（大卒等：一次試験）	県土連
7月27日(木)	県土連 大田管内 業務説明会	大田市
7月31日(月)	県土連 益田管内 業務説明会	津和野町

みどり  
「水」「土」「里」  
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水  
「土」・・・土地や農地  
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活

**水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）**

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メール[smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)